

**製品名:** アリールスルファターゼ E ウサギポリクローナル抗体

**カタログ番号:** APRab07184

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	65kDa

## 抗原情報

遺伝子名	ARSE
別名	ARSE; Arylsulfatase E; ASE
遺伝子 ID	415.0
SwissProt ID	P51690
免疫原	アリールスルファターゼ E 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 120-200

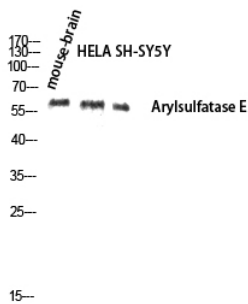
## 背景

アリールスルファターゼ E はスルファターゼファミリーの一員です。翻訳後に糖鎖修飾を受け、ゴルジ体に局在します。スルファターゼは、骨および軟骨基質の正しい構成に不可欠です。軟骨および骨の発達異常を特徴とする疾患である X 連鎖性点状軟骨異形成

症は、この遺伝子の変異と関連付けられています。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。この遺伝子に関連する偽遺伝子は Y 染色体上に位置しています。[RefSeq 提供、2013 年 9 月], 補因子: サブユニットあたり 1 個のカルシウムイオンを結合します。疾患: ARSE の欠陥は、X 連鎖性劣性点状軟骨異形成症 1 型 (CDPX1) [MIM:302950] の原因です。CDP は、骨の点状石灰化を特徴とする臨床的および遺伝学的に異質な疾患です。CDPX1 は、骨および軟骨の発達における先天性欠損症であり、異常な骨石灰化、鼻軟骨の重度の発達不全、および遠位指節骨低形成を特徴とします。この疾患は、ワルファリンという薬剤による阻害によっても誘発される可能性があります。酵素調節: ミリモル濃度のワルファリンによって阻害されます。機能: 発達中の軟骨および骨基質の適切な構成に不可欠である可能性があります。ステロイド硫酸塩に対しては活性がありません。PTM: N-グリコシル化されています。PTM: 原核生物ではセリンまたはシステイン残基、真核生物ではシステイン残基から 3-オキソアラニン (C-ホルミルグリシン、FGly と呼ばれる) への変換は、触媒活性にとって重要です。類似性: スルファターゼファミリーに属します。組織特異性: 脾臓、肝臓、腎臓で発現します。、

## 研究分野

## 画像データ



アリールスルファターゼ E 抗体を用いたマウス脳 HELA SH-SY5Y のウェスタンブロット解析。抗体は 1:1000 に希釈した。